

令和５年度岩美町廃棄物減量等推進審議会（第２回） 議事概要

１．日 時 令和５年１２月１５日（金）午後１時３０分～午後２時３０分

２．場 所 岩美町役場 １階 庁議室

３．出席者 【委 員】８名 【事務局】２名

４．概 要

○開会

○会長あいさつ

ごみの出し方の変更など多くの報告、提案がありますので、委員の皆様には意見を出していただき、この会を有意義なものとしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○議事

（事務局説明）

・可燃ごみ処理量の推移について

１０月時点での可燃ごみの比較です。

全体的に昨年の同時期と比較して、減少となっております。特に委託収集分が大きく減っています。

また、一般持込分の家庭の排出量が昨年の８トンに比べ、３３トンと多くなっております。これは、７月に発生しました大雨による床上浸水で廃棄することとなった罹災ごみが含まれております。

・不燃ごみ処理量の比較について

資源ごみ、プラスチックごみ、小型破碎ごみが、大型資源ごみが、前年と比較して減少をしています。原因についてははっきりしたものはございませんが、原油価格高騰によるプラスチックの価格が上がったこと、商品の包装の省略や、商品自体が高くなり買い控えなどで消費が減ったのではないかと想定されます。

質疑なし

（事務局説明）

・生ごみ減量化への取組について

生ごみ減量対策として、コンポスト容器や生ごみ処理機の購入に対する助成を実施しています。

コンポスト容器の購入助成の内容ですが、購入費の 1/2 上限額 5,000 円となっています。
生ごみ処理機は、購入費の 1/2 上限額 30,000 円です。

実績について、令和 5 年度は 10 月までですが、生ごみ処理機の助成については、2 件と令和 4 年度 12 件（同月では 5 件）と比較するとかなり少ない状況であるといえます。

ただ、窓口などで問い合わせや相談等をいくつか受けておりますのでこれからの申請を期待するとともに、周知を図っていきたいと思います。

一方コンポスト購入助成については、3 件で昨年を超えて（同月は 0 件）おります。しかしながら昨年度はこの数年で一番申請がなかった年度でありますので、今一度周知をしていきたいと思います。

下の段は、給食センターに設置しております大型生ごみ処理機の処理量を記載したものです。説明にもありますよう、バイオ菌が生ごみを水と炭酸ガスに分解し、ごみの減量を行うものであります。処理量は 3,743 キロで前年同月は 3,558 キロでした。

・ごみのリサイクルへの取組について

資源回収活動につきましては、小学校 PTA など 4 団体が取り組んでおります。10 月までの実績としましては、紙類 40 トン（前年同月 44 トン）、金属 1 トン（同 1 トン）、ビン類 0 トン（同 1 トン）で、それほど現象はしておりません。

また、町の収集による古紙回収についても、46 トン（前年同月 47 トン）で差がない状況です。

・ごみの再資源化への取組について

令和 3 年度から開始いたしました、布団と衣類の回収につきましては、令和 3 年度の 15 t に対しまして、令和 4 年度は 21 t と増加いたしております。今年度も 10 月時点で 16 トンと前年同月の 13 トンを超えています。

・そのほかの取組みについて

（メルカリエコボックス配布について）

岩美町はメルカリ、日本財団と共同で「捨てるをへらす」取り組みとして、「メルカリエコボックス」の配布を開始しました。このボックスに「使わなくなったが捨てられないもの」を一時的に保管してもらい、誰かに譲るなど「捨てる」以外の行動を起こしていただき、リユースの促進に取り組んでいきたいと考えます。

（フードドライブ事業について紹介）

この事業は令和 4 年度から始まった県の事業で、家庭などの余った食料品を提供いただき、必要とする団体に提供するものです。県内で発生した生ごみの約 3 割は、フードロスといわれる廃棄される食料品です。そうしたフードロスを減らしごみの減量化に取り組むためにもご協力願います。窓口は福祉保健課で、今回は来年の 1 月 22 日から 2 月 2 日までとなっています。

質疑

(委員) メルカリエコボックスの配布件数は現在何件か

(事務局) 2 件の配布です

(委員) 周知の方法に、岩美町公式 LINE を利用してはどうか

(事務局) 対応します

(事務局説明)

・ごみの出し方の変更について

来年 4 月から、分別区分の変更となったごみについてご案内いたします。

「有害ごみ」が新設となります。

「白色トレイ」がプラスチックごみの回収日に変更となります。

その他分別の区分が変更となるものがあります。3 月広報にあわせて、新しいガイドブックを各戸に配布させていただきますので、そちらでご確認ください。

質疑

(委員) スプレー缶でガスがぬけて、液体が残っていた場合どうするのか

(事務局) 中身を出し切れるところまで出したうえでごみにだしてください

○その他

(事務局説明)

・前回の審議会でいただいた意見について

1 番目は「コンポストの種類が増えている中、助成対象を拡充してはどうか」という意見がありました。

コンポストは「土中式」以外にも様々な種類が増えております。

補助要綱について必要に応じて見直しの検討をしたいと考えております。

2 番目は「布団や衣類の回収方法についてより一層の周知を」ということですが、現在はガイドブックやホームページなどでも案内していますが、岩美町公式 LINE のごみの出し方を調べる際、可燃物で出せるとともに無料回収についても案内できるようにしております。今後は CATV の文字放送を活用し周知に努めたいと考えております。

質疑なし

○閉会